



2018年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2017年10月20日

上場会社名 モーニングスター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4765 URL <http://www.morningstar.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 智也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小川 和久 TEL 03-6229-0810
 四半期報告書提出予定日 2017年11月2日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトにて動画開示予定

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第2四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第2四半期	2,848	21.4	863	7.4	910	10.8	614	11.1
2017年3月期第2四半期	2,347	0.4	804	5.7	821	7.8	553	10.1

(注) 包括利益 2018年3月期第2四半期 644百万円(20.0%) 2017年3月期第2四半期 536百万円(6.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第2四半期	7.52	7.50
2017年3月期第2四半期	6.77	6.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期第2四半期	9,920	9,050	91.2	110.62
2017年3月期	10,092	9,084	89.9	111.12

(参考) 自己資本 2018年3月期第2四半期 9,042百万円 2017年3月期 9,076百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	0.00	—	8.50	8.50
2018年3月期	—	0.00			
2018年3月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期の配当予想額は現時点で未定であります。

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

業績予想につきましては、現時点では未定であります。

なお、当社は前連結会計年度(2017年3月期)まで連結営業利益、連結経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が8期連続の増益を記録しております。2018年3月期に各々9期連続の増益となるように努力いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2018年3月期 2 Q	83,973,600 株	2017年3月期	83,973,600 株
--------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2018年3月期 2 Q	2,230,500 株	2017年3月期	2,291,000 株
--------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2018年3月期 2 Q	81,712,075 株	2017年3月期 2 Q	81,671,600 株
--------------	--------------	--------------	--------------

※四半期決算短信は、四半期レビュー手続の対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(2018年3月期の配当予想)

2018年3月期の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2017年10月20日にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
3. その他	14
継続企業の前提に関する重要事象等	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年9月30日)の連結業績は、売上高が前年同期間(2016年4月1日～2016年9月30日)の2,347百万円から501百万円(21.4%)の増収となる2,848百万円となりました。

また、売上原価は、前年同期間の1,134百万円から457百万円(40.3%)増加し1,591百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同期間の409百万円から15百万円(△3.8%)減少し393百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期間の804百万円から59百万円(7.4%)の増益となる863百万円となりました。

営業外損益が、前年同期間と比べ、純額で29百万円増加し、その結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期間の821百万円から89百万円(10.8%)の増益となる910百万円となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期間の553百万円から61百万円(11.1%)の増益となる614百万円となりました。

[業績の概要]

	2017年3月期第2四半期 連結累計期間		2018年3月期第2四半期 連結累計期間		増減	
	金額(千円)	利益率 (%)	金額(千円)	利益率 (%)	金額(千円)	比率 (%)
売上高	2,347,145		2,848,310		501,165	21.4%
営業利益	804,026	34.3%	863,576	30.3%	59,549	7.4%
経常利益	821,815	35.0%	910,833	32.0%	89,017	10.8%
親会社に帰属する 四半期純利益	553,306	23.6%	614,855	21.6%	61,548	11.1%

売上高は6期連続増収過去最高売上高を更新しました。営業利益、経常利益は8期連続の増益、6期連続の最高益を記録しました。また、親会社に帰属する四半期純利益は8期連続増益、3期連続の最高益を記録しました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第2四半期連結累計期間 2016年4月1日から 2016年9月30日まで		当第2四半期連結累計期間 2017年4月1日から 2017年9月30日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
サービス別売上高					
ファイナンシャル・サービス事業					
データ・ソリューション	923,014	39.3	959,842	33.7	4.0
メディア・ソリューション	587,077	25.0	487,214	17.1	△17.0
計	1,510,092	64.3	1,447,057	50.8	△4.2
アセットマネジメント事業					
アセットマネジメント	837,052	35.7	1,401,253	49.2	67.4
計	837,052	35.7	1,401,253	49.2	67.4
連結売上高	2,347,145	100.0	2,848,310	100.0	21.4

1) ファイナンシャル・サービス事業

・データ・ソリューション

タブレットアプリの提供台数が前年同四半期末の45,064台から2,474台(5.5%)増加し、47,538台となり、フィンテック関連の受注も増加いたしました。それに伴い、ファンドデータの売上が増加いたしました。また、ファンドレポートの売上も増加いたしました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同期間の923百万円から36百万円(4.0%)の増収となる959百万円となりました。

・メディア・ソリューション

ウェブ広告や資産運用セミナーなどを統合的に提供するメディア・ソリューションの売上が減少いたしました。また、ウェブ・コンサルティングの売上也減少いたしました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同期間の587百万円から99百万円(△17.0%)の減収となる487百万円となりました。

2) アセットマネジメント事業

・アセットマネジメント

SBIアセットマネジメント株式会社が運用するファンドの純資産額が、前年同四半期末の1,891億円から810億円(42.9%)増加し2,701億円となり、通常の投資委託者報酬は増加し、前年同四半期より成功報酬型手数料が増加したことにより、投資委託者報酬が増加いたしました。

その結果、アセットマネジメントの売上高は、前年同四半期の837百万円から564百万円(67.4%)の増収となる1,401百万円となりました。

セグメント別には、ファイナンシャル・サービス事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の1,510百万円から63百万円(△4.2%)の減収となる1,447百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の620百万円から22百万円(△3.7%)の減益となる597百万円となりました。

アセットマネジメント事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の837百万円から564百万円(67.4%)の増収となる1,401百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の183百万円から82百万円(44.8%)の増益となる265百万円となりました。

② 事業上および財務上の当社が対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

③ 研究開発活動

該当事項はありません。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

資産合計は前連結会計年度末と比較して171百万円減少し、9,920百万円となりました。

これは、流動資産が前連結会計年度末と比較して1,516百万円減少し、3,682百万円となったことによるものであります。

流動資産の減少は、主として現金及び預金が1,802百万円減少したことによるものであります。

現金及び預金の減少は、主として投資有価証券を1,279百万円増加したことによるものであります。

固定資産が前連結会計年度末と比較して1,345百万円増加して6,238百万円となったのは、投資有価証券1,279百万円の増加によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比較して137百万円減少し、870百万円となりました。

負債の減少は、買掛金が7百万円・未払法人税等が239百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結累計期間に614百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益が計上され、694百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が79百万円減少いたしました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して33百万円減少し、9,050百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,802百万円減少し、2,480百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期間と比べ、281百万円減少し、120百万円の獲得となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が前年同期間と比べ89百万円増加した一方、法人税等の支払額が246百万円増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期間と比べ、2,890百万円減少し、1,245百万円の支出となりました。

これは、主として、投資有価証券の取得による支出が前年同期間の4,313百万円から、当第2四半期連結累計期間は1,127百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期間と比べ、83百万円減少し、677百万円の支出となりました。

これは、主として配当金の支払額が前年同期間の593百万円から、当第2四半期連結累計期間は693百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当社事業と関連性の高い金融市場において、その動向を当期を通じて、想定するのは難しく、当社グループの業績を、現時点では合理的な算定を行なうことが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,482,501	2,680,213
売掛金	530,889	866,614
たな卸資産	※1 2,482	※1 6,484
繰延税金資産	45,053	34,410
その他	138,045	94,846
流動資産合計	5,198,971	3,682,569
固定資産		
有形固定資産	※2 57,997	※2 64,694
無形固定資産		
のれん	314,975	303,625
ソフトウェア	350,430	370,799
その他	35,228	91,414
無形固定資産合計	700,634	765,838
投資その他の資産		
投資有価証券	3,882,742	5,162,351
繰延税金資産	55,826	42,590
その他	196,043	202,771
投資その他の資産合計	4,134,611	5,407,714
固定資産合計	4,893,242	6,238,247
資産合計	10,092,214	9,920,816

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,865	50,791
未払金	327,092	431,236
未払法人税等	561,754	321,894
未払消費税等	44,707	47,125
その他	16,308	19,184
流動負債合計	1,007,727	870,232
負債合計	1,007,727	870,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115,620	2,115,620
資本剰余金	3,250,035	3,256,057
利益剰余金	4,222,590	4,143,143
自己株式	△395,943	△385,487
株主資本合計	9,192,301	9,129,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△115,794	△86,403
その他の包括利益累計額合計	△115,794	△86,403
新株予約権	7,979	7,655
純資産合計	9,084,487	9,050,584
負債純資産合計	10,092,214	9,920,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上高	2,347,145	2,848,310
売上原価	1,134,079	1,591,413
売上総利益	1,213,065	1,256,896
販売費及び一般管理費	※1 409,038	※1 393,320
営業利益	804,026	863,576
営業外収益		
受取利息	19,400	50,185
受取配当金	60	18
信託運用益	2,018	—
その他	117	1
営業外収益合計	21,596	50,205
営業外費用		
支払利息	11	—
為替差損	1,652	457
持分法による投資損失	1,142	2,401
その他	1,000	88
営業外費用合計	3,807	2,947
経常利益	821,815	910,833
税金等調整前四半期純利益	821,815	910,833
法人税、住民税及び事業税	265,328	285,071
法人税等調整額	3,180	10,907
法人税等合計	268,508	295,978
四半期純利益	553,306	614,855
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	553,306	614,855

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期純利益	553,306	614,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,422	29,390
その他の包括利益合計	△16,422	29,390
四半期包括利益	536,884	644,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	536,884	644,245
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	821,815	910,833
減価償却費	54,901	64,400
長期前払費用償却額	3,137	3,094
のれん償却額	26,403	11,350
受取利息及び受取配当金	△19,460	△50,203
支払利息	11	—
信託運用益 (△は益)	△2,018	—
為替差損益 (△は益)	439	31
持分法による投資損益 (△は益)	1,142	2,401
売上債権の増減額 (△は増加)	△141,394	△335,724
たな卸資産の増減額 (△は増加)	28,326	△4,002
仕入債務の増減額 (△は減少)	△41,741	△7,073
未払金の増減額 (△は減少)	10,116	62,948
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△26,202	△22,294
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△36,592	7,983
小計	678,885	643,744
利息及び配当金の受取額	88	25
利息の支払額	△11	—
法人税等の支払額	△276,427	△523,113
営業活動によるキャッシュ・フロー	402,534	120,656
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,026	△14,769
無形固定資産の取得による支出	△119,295	△97,855
投資有価証券の売却による収入	300,000	—
投資有価証券の取得による支出	△4,313,692	△1,127,668
敷金及び保証金の回収による収入	—	1,914
敷金及び保証金の差入による支出	—	△7,095
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,136,014	△1,245,474
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストックオプションの行使による収入	—	16,153
配当金の支払額	△593,499	△693,599
リース債務の返済による支出	△353	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△593,853	△677,446
現金及び現金同等物に係る換算差額	△439	△31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,327,772	△1,802,296
現金及び現金同等物の期首残高	7,218,285	4,282,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,890,512	※1 2,480,408

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
仕掛品	789千円	4,853千円
貯蔵品	1,692	1,631

※2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
	212,825千円	221,079千円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
従業員給与	123,382千円	112,799千円

(四半期連結キャッシュ・フロー関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
現金及び預金勘定	3,090,283千円	2,680,213千円
有価証券	—	—
証券口座預け金 (その他流動資産)	296	296
3ヶ月超の定期預金	△200,067	△200,101
現金及び現金同等物の四半期連結会計 期間末残高	2,890,512	2,480,408

(株主資本関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2016年4月22日 取締役会	普通株式	利益剰余金	571,701	7.00	2016年3月31日	2016年6月2日

II 当第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2017年5月19日 取締役会	普通株式	利益剰余金	694,302	8.50	2017年3月31日	2017年6月2日

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,510,092	837,052	2,347,145	-	2,347,145
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,104	-	4,104	△4,104	-
計	1,514,196	837,052	2,351,249	△4,104	2,347,145
セグメント利益	620,537	183,489	804,026	-	804,026

当第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,447,057	1,401,253	2,848,310	-	2,848,310
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,989	-	15,989	△15,989	-
計	1,463,046	1,401,253	2,864,299	△15,989	2,848,310
セグメント利益	597,824	265,751	863,576	-	863,576

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する項)

(単位: 千円)

売上高	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	2,351,249	2,864,299
セグメント間取引消去	△4,104	△15,989
四半期連結損益計算書の売上高	2,347,145	2,848,310

(単位: 千円)

利益	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	804,026	863,576
セグメント間取引消去	-	-
四半期連結損益計算書の営業利益	804,026	863,576

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(有価証券関係)

その他有価証券が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

前連結会計年度 (2017年3月31日)

	取得原価 (千円)	四半期連結貸借対照表計上額 (千円)	差額 (千円)
(1) 株式	32,425	33,461	1,036
(2) 債券			
国債・地方債等	—	—	—
社債	—	—	—
その他	—	—	—
(3) その他	4,000,000	3,833,004	△166,996
合計	4,032,425	3,866,465	△165,960

当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)

	取得原価 (千円)	四半期連結貸借対照表計上額 (千円)	差額 (千円)
(1) 株式	60,093	61,780	1,687
(2) 債券			
国債・地方債等	—	—	—
社債	—	—	—
その他	—	—	—
(3) その他	5,212,919	5,086,695	△126,223
合計	5,273,012	5,148,476	△124,536

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	6円77銭	7円52銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	553,306	614,855
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	553,306	614,855
普通株式の期中平均株式数(株)	81,671,600	81,712,075
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	6円76銭	7円50銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
(うち、子会社の発行する潜在株式による四半期純利益調整額)(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	118,903	277,057
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものではありません。		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。